

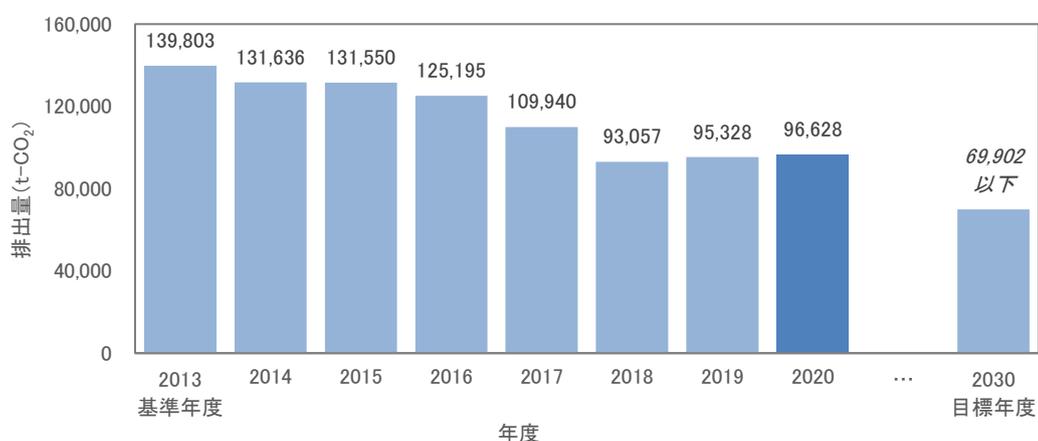
2020年度の京都府の事務事業における温室効果ガス排出量について

2020年度の京都府の事務事業における温室効果ガス排出量は96,628t-CO₂となり、前年度(2019年度)からは1.4%の増加、「府庁の省エネ・創エネ実行プラン(第2期)」(2021年12月策定)の基準年度(2013年度)からは30.9%の削減となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための府立学校や府民・文化施設の休校・休業、公用車の利用減少といった排出量の減少要因に加え、浄化センターでの消化ガス発電や、空調の省エネ運用、道路照明・信号機のLED化といった取組による排出量削減もみられましたが、電力排出係数の増大や、換気をしながらの冷暖房使用等の増加要因により、全体としては前年度から排出量が増加しました。

なお、排出量は同プランに定める算定方法に準じて算定しています。

1 排出量の推移

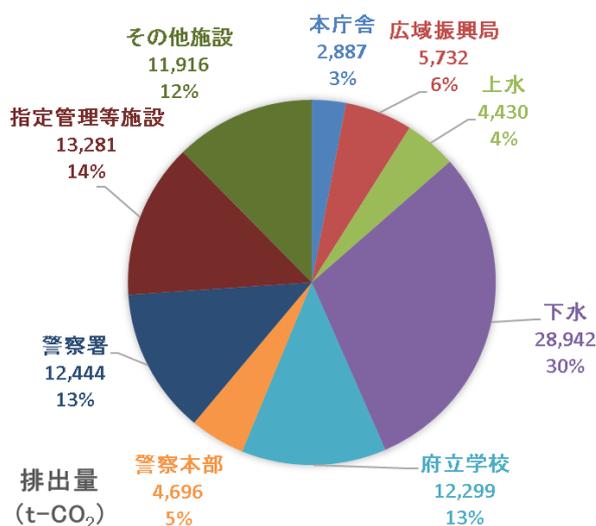


年度	2013 基準年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2030 目標年度
排出量 (t-CO ₂)	139,803	131,636	131,550	125,195	109,940	93,057	95,328	96,628	69,902 以下
前年度比 (%)	-	▲5.8	▲0.1	▲4.8	▲12.2	▲15.4	2.4	1.4	
2013年度比 (%)	-	▲5.8	▲5.9	▲10.4	▲21.4	▲33.4	▲31.8	▲30.9	▲50 以上
電力排出係数 ^{※1} (kg-CO ₂ /kWh)	0.522	0.531	0.509	0.509	0.435	0.352	0.360	0.381	0.250 ^{※2}

※1 「電力排出係数」は、2013～2018年度は各年度の関西電力の基礎排出係数を、2019～2020年度は各電気事業者の基礎排出係数の平均値(各府有施設の電力使用量による重み付け平均値)を記載している(各年度の電気使用によるCO₂排出量は、当該排出係数を使用して算定)。

※2 「2030年度におけるエネルギー需給の見通し」(資源エネルギー庁)に基づく2030年度の全電源平均の電力排出係数。

2 施設種別排出量

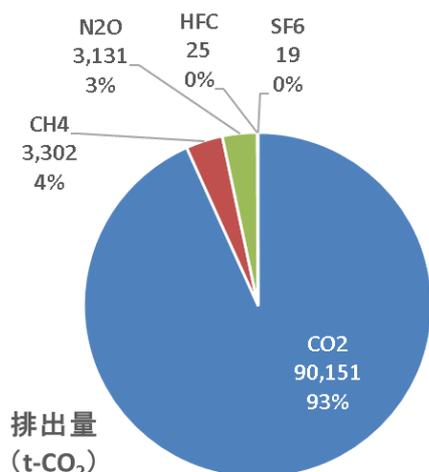


施設種別	2019年度		2020年度				主な増減要因 (↑: 増加要因、↓: 減少要因)	
	排出量 (t-CO ₂)	電力排出 係数 (kg-CO ₂ /kWh)	排出量 (t-CO ₂)	前年度比較		電力排出 係数 (kg-CO ₂ /kWh)		前年度比較 増減率 (%)
				増減量 (t-CO ₂)	増減率 (%)			
本庁舎	2,317	0.383	2,887	570	24.6	0.461	20.4	↑ 電力排出係数の増大 ↑ 時差勤務の実施による稼働時間増 ↑ 熱源設備の更新・一時停止に伴うガス使用量増
広域振興局	5,659	0.380	5,732	73	1.3	0.457	20.3	↑ 時間外、休日勤務の増加 ↓ 出張減に伴う公用車の利用減少 ↓ 道路照明のLED化
上水	4,001	0.340	4,430	430	10.7	0.364	7.1	↑ 電力排出係数の増大 ↑ 供給水量の増加
下水	27,396	0.340	28,942	1,546	5.6	0.362	6.5	↑ 電力排出係数の増大 ↑ 流入水量の増加 ↓ 消化ガス発電量の増加
府立学校	12,098	0.421	12,299	202	1.7	0.404	▲4.2	↑ 換気しながらの冷暖房使用 ↓ 緊急事態宣言に伴う休校
警察本部	4,420	0.342	4,696	276	6.3	0.362	5.9	↑ 電力排出係数の増大
警察署	12,342	0.352	12,444	102	0.8	0.383	9.0	↑ 換気しながらの冷暖房使用 ↓ 行事中止等に伴う警備活動・公用車利用の減少 ↓ 信号機のLED化
指定管理等施設	15,073	0.362	13,281	▲1,792	▲11.9	0.389	7.5	↓ 緊急事態宣言等に伴う休業、利用者減少 ↓ 空調の省エネ運用
その他施設	12,023	0.375	11,916	▲108	▲0.9	0.396	5.5	↑ 換気しながらの冷暖房使用 ↓ 感染拡大防止のための施設休止
合計	95,328	0.360	96,628	1,300	1.4	0.381	5.9	

※「指定管理等施設」：京都府府民総合交流プラザ、京都府立心身障害者福祉センター、けいはんなオープンイノベーションセンター、府立けいはんなホール、京都府立京都学・歴史館など。(排出量が最も大きい順に5施設)

※「その他施設」：洛南病院、京都府立植物園、京都府警察学校、保健環境研究所、水産事務所など。(同上)

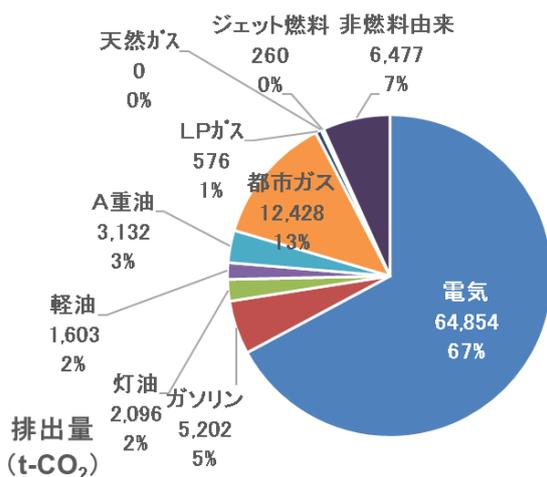
3 ガス種別排出量



ガス種別	2019年度 排出量 (t-CO ₂)	2020年度 排出量 (t-CO ₂)	前年度比較	
			増減量 (t-CO ₂)	増減率 (%)
二酸化炭素 (CO ₂)	89,393	90,151	758	0.8
メタン (CH ₄)	3,182	3,302	120	3.8
一酸化二窒素 (N ₂ O)	2,703	3,131	428	15.9
ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの (HFC)	32	25	▲7	▲22.0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	19	19	0	0.0
合計	95,328	96,628	1,300	1.4

※CO₂以外の各ガスの排出量は、地球温暖化係数を用いたCO₂換算値。地球温暖化係数 (GWP : Global Warming Potential) とは、CO₂を1 (基準) として、各ガスの温室効果の強さを数値化したもの (CH₄ : 25、N₂O : 298、HFC-134a (HFCの一種) : 1,430、SF₆ : 22,800)。

4 燃料別排出量



燃料別	2019年度 排出量 (t-CO ₂)	2020年度 排出量 (t-CO ₂)	前年度比較	
			増減量 (t-CO ₂)	増減率 (%)
電気	63,518	64,854	1,336	2.1
ガソリン	5,562	5,202	▲361	▲6.5
灯油	2,340	2,096	▲244	▲10.4
軽油	1,097	1,603	506	46.1
A重油	3,186	3,132	▲54	▲1.7
都市ガス	12,360	12,428	68	0.5
LPガス	969	576	▲393	▲40.5
天然ガス	0	0	0	-
ジェット燃料	360	260	▲100	▲27.8
非燃料由来	5,935	6,477	542	9.1
合計	95,328	96,628	1,300	1.4

参考 温室効果ガス排出量の削減に向けた主な取組 (2020年度)

省エネの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・新築、設備更新での省エネ設備の導入 (警察本部新庁舎、峰山総合庁舎等) ・道路照明、信号機のLED化 ・「京都府環境マネジメントシステム」に基づくエコオフィス活動 (冷暖房の適切な温度設定、こまめな消灯等) ・ウェブ会議の推進
再エネの導入	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電設備の導入 (警察本部新庁舎、城陽警察署)
再エネ電気の調達	<ul style="list-style-type: none"> ・「京都府電力の調達に係る環境配慮契約方針」に基づく電力調達